

理学部附属

植物園のいきものたち

第5回



- **写真上：ヤブラン** (*Liriope platyphylla* Wang et Tang.、ユリ科)。
暖地の林内に生育する多年草です。大きさは30-50cmほどで、晩夏より穂状につらなった薄紫の花が咲きます。果実は紫黒色の球形で瑞々しい光沢があり、冬枯れの林でひととき目立ちます。葉に黄白色の覆輪（細い縁取り）のあるフィリヤブランは園芸品種で、花のない時期にも葉を觀賞し、また花壇の縁取りとして植えられます。



- **写真下：ヤブミョウガ** (*Pollia japonica* Thunb.、ツユクサ科)。
ミョウガの名を持ちますが、ショウガ科とは縁遠いツユクサの仲間の多年草で、梅雨の終わり頃から夏にかけて花を咲かせます。白く小さな花は一日で萎れてしまいます。茎は子どもの背丈ほどもあり、葉には毛があってざらざらします。秋に熟す果実はつやのある青藍色で綺麗です。日本が分布の北限で、植物園でも数カ所で「やぶ」を作っています。

（撮影：樋上正美氏、解説：今村彰生）